



朝来市役所まちづくり協働部市民協働課
〒669-5292 兵庫県朝来市和田山町東谷 213-1
TEL 079-672-3065 (直通)
079-672-3301 (代)
www.city.asago.hyogo.jp

Produce : Asago City
Coordinate : Hideki Nakashima
Direction & Design : Sho Sakiyama
Photo : Akito Sakiyama

It'll be your turn next time to take the lead!

創造しよう。
新しい朝来市、
新しいあなた。



協力隊特設ページはこちら

ASAGO LOCAL VITALIZATION COOPERATOR EXPERIENTIAL REPORT 2025

朝来市地域おこし協力隊レポート



2025

ASAGO LOCAL VITALIZATION COOPERATOR EXPERIENTIAL



朝来市地域おこし協力隊

朝来市では、平成 26 年度から地域おこし協力隊の制度を導入しています。
これまでに 18 人の隊員が任期を終え、内 15 人が市内に定住しています。
2024 年は計 9 名が活躍しました。地域みなさんとともに、地域を元気に、
楽しく、そして、自分らしく、いきいきとがんばっています。

ASAGO LOCAL VITALIZATION COOPERATOR EXPERIENTIAL 採用までの流れ

FLOW OF RECRUITMENT

1. Recruitment flow まずは体験ツアーへ参加



自分の目で朝来市を見て、自分の耳で聴いて、肌で感じてから決めて欲しい。「ちょっとイメージが違う」「はじめて聴く話だった」「このまちで活動してみたい」協力隊になって地方で暮らすのは大きな決断なので、私たちは皆さんが「決める」後押しをしたい。1泊2日に内容を詰め込んだ、朝来市地域おこし協力隊体験ツアーを開催します。

2. Matching 地域とマッチング

地域ではあなたに、あれもやってほしい、これもやってほしいと、期待することがたくさん。全て聞き入れたいけど、私たちには限られた時間しかない。成果を大きくするには「あなたのできること・やりたいこと」と「地域があなたに期待すること」をマッチングさせること。そのための話し合う場を設けます。



3. Presentation & Interview 提案会 & 面接 ...そして採用決定！



体験ツアーと地域とのマッチングの成立を終えたら、あなたが考案するミッションを伝えるための提案会を開催します。審査のポイントは定住とミッションの実現性。そして、あなたの「やりたい」という熱い気持ち。朝来市と共にあなたの夢を叶えましょう！提案審査を通過したら、最終面接を経て採用決定です。

朝来市の協力隊になって、地域をおこそう！



新入隊員

Yusuke Kikutch

菊池 優介

R7年度採用（第10期）

Mission

若者の集いの場づくり

Creating Spaces for Young People to Connect



菊池さんはどんな人？

大阪府富田林市出身の30歳。大学進学を機に上京。在学中に計1年半カナダでの語学留学と現地企業でのインターンを行う。帰国後、大学を卒業し大阪に本社のある空調メーカーへの就職を機に帰阪。その後、大好きなお酒を仕事にしたいと京都の酒造メーカーに就職。自身を一言で表すと「好奇心旺盛」。

なぜ朝来市の協力隊に？

大学在学中に留学で訪問したカナダで知り合った西村真美隊員の縁で朝来市を訪れ、その魅力に惹かれ地域おこし協力隊に応募しました。朝来市の豊かな自然や歴史ある街並み、そして何より地域の方々の温かさに触れ、「ここで自分の力を活かしたい」という想いが強くなり、応募を決意しました。



今年の活動を教えて！

和田山自治協との活動では、介護予防事業「よりささ」や小学生向け体験イベント、クリスマスイベント「光の集い」では補助金申請、司会、会場設営等を実施。他では各部会活動や事務作業まで幅広く関わりました。個人活動では、写真展「移住者の瞳に映る朝来市の魅力」を開催し、さらに朝来エールの企画や、「婚活 × 観光」をテーマとした婚活イベントを企画中です。

朝来市での協力隊活動を通した「夢」・「目標」を教えて！

私が協力隊として叶えたい目標は、「住民の方々に“菊池を協力隊と呼んで良かった”と思ってもらうこと」です。協力隊の活動は、100人いれば100通りの形があると思いますが、共通して言える一番の目的は、協力隊の存在によって地域が少しでも良くなったと感じてもらうことだと考えています。その上で私の夢は、住民の方々が自然と集い、つながることのできる場所をつくることです。人が集まり、会話が生まれ、安心できる、そんな“街の明かり”のような存在となる店舗を立ち上げ、運営していくことを実現したいと考えています。その場所が、世代を超えた交流の起点となり、地域の人々が互いに支え合える温かいコミュニティづくりに貢献できると信じています。

welcome to
ASAGO!



Mission

R2 年度採用
(第 5 期)

ふくし部会の促進

上村 梨湖

Riko Kamimura



なぜ朝来市の協力隊に？

インターナショナルプリスクールや児童養護施設での勤務を通して子ども達と関わるうちに、いつしか自身でも子ども達の支援をしたいと考えるようになりました。その頃地域おこし協力隊の制度を知り、朝来市で協力隊として活動している方や地域の方のお話を聞くうち、自身の理想がかなう地域おこし協力隊の活動が非常に魅力的だと感じました。

今年の活動を教えて！

昨年に引き続き、毎月ふれあいサロンを行ったり、地域イベント、学校との連携事業、生野町国際文化交流協会などに参加しました。また今年度新たな取り組みとして、おためし協力隊（おてつたび）の受け入れも行いました。自身の今後に繋げる活動としては、里親登録や手話を始めたり、西村隊員とともに地域・子ども食堂を開催しました。



協力隊を通した「夢」・「目標」を教えて！

私の長期的な目標は、地域おこし協力隊としての経験を通じて染いた人とのつながりや地域の輪を大切に、それらを子ども達へとつないでいくことです。また、社会的養護下で暮らす子どもたちへの支援（短期里親、里親制度の周知）や子ども・子育て世帯へのサポートなど、微力ながら私にできることがあれば取り組んでいきたいです。

Profile

兵庫県姫路市出身。2024 年度 4 月よりいくの地域自治協議会配属。趣味は乗馬、スノボ、カフェ巡り。留学を機に保育の世界に魅了されインターナショナルスクールや児童養護施設で働く。幼少期の子ども達を取り巻く環境や生きる力を育む事の重要性について熟考するうち、自身でも支援をしたいと考え地域おこし協力隊となる。

Mission

R2 年度採用
(第 5 期)

地域の情報発信基盤の構築
多世代交流の場作り

西村 真美

Mami Nishimura



なぜ朝来市の協力隊に？

全国どこでも良いから協力隊の制度を使って法人の設立に挑戦したいと考えていました。そんな時にひょんなご縁から是非、朝来市で！と紹介してくださった方が現れ、そしてその方の方々の人柄の良さや自然環境など魅力を感じ、ここでなら頑張れると思ったからです。

今年の活動を教えて！

和田山えがお土曜チャレンジ、ホップの栽培からの「あさごエール」の開発、地域・子ども食堂（和田山、生野）、自身の NPO 法人の設立準備、「光のつどい」、自治協のホームページの立ち上げ、市民協働課と婚活イベント、あさごっこフェスタ、ネギサミット出店、ふれあいウォーキング、広報誌・チラシ作り、豊中市社協の視察研修参加など行いました。



協力隊を通した「夢」・「目標」を教えて！

お陰様で NPO 法人の設立も間近となり、来年度はまた新たなスタートに立ちます。この法人の器を使って市民の方々は勿論、今まで支えていただいた方にも恩返しできるような幅広い支援、そして人に寄り添える活動に今後も尽力したいと思います。



Profile

たつの市出身。2023 年 4 月より和田山地区自治協議会配属。国内外で約 14 年間保育士として働いた経験を持つ。この経験を通じて、保護者支援、多世代交流、異文化交流の必要性を感じるようになる。特技は、よく笑うこと。人見知りをせずに初めての人とでもうちとけ合える。この特技によって、周囲の人の笑顔も絶えない。

Mission

写真、映像を用いた
地域の活性化

R2 年度採用
(第 5 期)

Akito Sakiyama
崎山 皓斗



今年の活動を教えて！

担当地域のイベント等の撮影をはじめ、初年度より行なっている SNS の引き継ぎ等をメインに活動しました。その他にも現役協力隊の菊池さん、OB のネル・レハンさんと共に企画した写真展「移住者の瞳に映る朝来市の魅力」の巡回開催です。和田山の旧上垣医院から始まり生野の銀谷祭り、山東蔵開きでも開催させていただきました。写真計 12 点＋映像作品を展示し、菊池さん、レハンさんとも交友を深めるきっかけにもなりました。



Profile

姫路市出身。2023 年 4 月より栗鹿地域自治協議会配属。既に朝来市で協力隊任期を終えて活躍している兄は映像を使った PR を手掛けるパートナー。朝来市の協力隊制度が始まって以来の最年少での着任であるが、1 年目から地域の PR 活動に積極的に取り組んでいる。将来は映像クリエイター、フォトグラファーとしての独立を目指している。

なぜ朝来市の協力隊に？

先に姉、兄が朝来市に移住しており、着任当時に兄が大蔵地域にて現役協力隊でした。僕自身、都会より自然豊かな田舎が好きなこともあり、馴染みの朝来市に移住する決意をしました。協力隊として活動しつつ、特技である写真、映像を生かしたクリエイターとして朝来市に定住、独立を目指しています。



協力隊を通した「夢」・「目標」を教えて！

直近の目標では僕個人の作品を発表、紹介する機会を作ることです。ZINE や個展等を市内で発表できたらと思っています。夢、というか長期的な目標になりますがクリエイターとして地に足をつけ安定した暮らしができれば良いと思います。

地域おこし協力隊 OB・OG の紹介

これまでに、23 人の隊員が任期を終えうち 15 人が朝来市に在住在勤しています。



Miki Okano
岡野 未希
2014 - 2017

母の失明を機に、多様な人が安心して暮らせる社会を目指し、ユニバーサルデザインの仕事をしています。



Takayuki Kato
加藤 貴之
2014 - 2017

市議会議員5年目。市内を歩きながら情報を伝える「飛脚」をしています。子共もすくすく成長中です。



Naoko Kato
加藤 菜穂子
2014 - 2017

お店をOPENしてはや9年目！家族の協力のもと日々楽しんで営業できていることに感謝一杯です。



Ryota Shinohara
篠原 諒太
2014 - 2017

10年が経ち分かったことも。「受け身」から「提案」へ。自分で仕事を生み出すことを始めました。



Shohai Matsuki
松木 祥平
2014 - 2017

兵庫県地域おこし協力隊ネットワーク代表理事。地域おこし協力隊研修や地域活性化に従事。



Tsuyoshi Yoshihara
吉原 剛史
2014 - 2017

観光協会職員と猟友会員の二足の草鞋。竹田地域の住民としてお城祭りや秋祭りにも関わっています。



Akira Satake
佐竹 鑑
2015 - 2018

私の住む与布土地域では、秋にチビッコ相撲を開催。去年は行司として子共と一緒に参加しました。



Naoki Takada
高田 尚希
2015 - 2018

若いメンバーも参加。山の状況や猟師さんの高齢化等先は分かりませんが、体が動く限り頑張ろうと思います。



Hideki Nakashima
中島 英樹
2015 - 2018

地域づくりと教育の両方に関わり、より良い朝来市の未来に貢献できるよう日々模索中です。



Daisuke Nishimura
西村 大輔
2015 - 2018

蜜蜂がいるブルーベリー観光農園の開業準備中。果樹を守る為、鷹匠になる修業も始めました。



Takashi Nakaie
中家 宜嗣
2017 - 2020

妻と娘犬、猫、ニワトリと大所帯に。設立した映像制作会社も4期目に入り、楽しく過ごしています！



Tomohiro Horinouchi
堀之内 智裕
2017 - 2020

地域おこし協力隊を卒業して 5 年、現在は農業に励みつつ、様々な可能性を模索しています。



Shinjiro Kanamaru
金丸 真次郎
2018 - 2021

農林水産省の獣害アドバイザー、狩猟指導員、クマ捕獲の講師、等々専門分野で頑張ってます。



Masakazu Suwa
諏訪 正和
2018 - 2021

自宅縁側を地域の子供達に開放する取組みを継続。ひきこもり支援員・青少年問題協議会委員。



Ryo Taguchi
田口 亮
2018 - 2021

昨年より境分析の会社で働いております。田舎で暮らすようになって 8 年が経ちました。



Chia Nishimura
西村 知亜
2018 - 2021

活動中に開いたカフェ「そらし〜ど」を経営、大好きな黒川で楽しく暮らしています。



Ikuko Yoneda
米田 育子
2021 - 2023

山で暮らしています。去年は獣害もあり山中の田畑の難しさにも直しましたが、乗り越えています。



Charles Chi
チャールス チ
2021 - 2024

現在、故郷のアメリカに戻り、家族が経営するレストランを手伝いながら経営の修行中です。



Kevin Nel
ケビン ネル
2021 - 2024

兵庫県内外で観光事業に携わりながら、デザインや教育分野でも幅広く活動しています。



Rehan Nel
レハン ネル
2021 - 2024

生野の旧鉱山社宅を活用した宿を運営。デザインや発信を通して地域観光に取り組んでいます。

It'll be your turn next time
to take the lead!

ASAGO LOCAL VITALIZATION COOPERATOR EXPERIENTIAL 朝来市地域おこし協力隊 3つの特徴

1. Follow up フォローアップ体制について

隊員それぞれのミッションが実現するように、フォローアップ研修会の開催や、協力隊が集まる定期ミーティングの実施による「悩みの共有」、「状況を打開するための意見交換」などをおこなっています。また生活の支援・活動の支援は、所属団体において相談できる者を明確にすることを心掛けています。海外から着任した隊員には市の国際交流員などによる支援もおこなっており、初めての土地でもいきいきと活動ができるよう隊員の状況に応じたきめ細やかなフォローアップ体制を整えています。



2. Tripartite training 想いを確認し合う「三者研修」の実施

地域おこし協力隊制度において、隊員は最大3年間の期間の中で、「地域から求められる地域課題の解決」と、主に「任期後の生業づくり」につながる活動が求められます。この2種類の活動が必ずしも、1つの道につながるとは限りません。その場合「隊員」・「地域」・「自治体」という三者の思いのズレにつながらないように、それぞれが求めることや、ミッションの進捗状況などを確認する「三者研修」を実施しています。また市行政幹部や地域の関係者の皆さんに対して活動状況を発表する場を設けることで、隊員は新たな協力者を得たり、活動の方向性の確認をしたりしながらミッションの達成を目指します。



3. Work balance 任期終了後の理想形と活動のバランス

「地域から求められる地域課題の解決」と「任期後の生業づくり」に関する取組の延長に、定住のための生活を支える仕事づくりが位置づけられるのが理想です。任期終了後を見据えながら、3者で活動のバランスを話し合います。その際に、標準的な活動の割合を概ね「5（地域支援活動）：3（定住に向けた活動）：2（協力隊のチーム活動）」となるように調整しています。



ACCESS TO ASAGO CITY 朝来市へのアクセス



電車をご利用の場合【山陰線・播但線】和田山駅下車

- ・大阪より特急で約2時間10分（福知山線経由）
- ・神戸より特急で約2時間（播但線経由）
- ・姫路より特急で約1時間（播但線経由）
- ・京都より特急で約1時間50分（山陰線経由）
- ・鳥取より特急で約2時間（山陰線経由）

自動車ご利用の場合

- 中国自動車道（福崎IC）→ 播但連絡道路（和田山IC）下車
・大阪より約2時間 ・神戸より約1時間50分
- 中国自動車道（吉川JCT）→ 舞鶴若狭自動車道（春日JCT）→ 北近畿豊岡自動車道（和田山IC）下車
・大阪より約2時間 ・神戸より約1時間50分
- 国道9号線利用
・京都より約2時間30分 ・鳥取より約2時間



MAP



生野鉾山のまちとして鉾山文化や景観が色濃く残る地域



人口が最も多く「天空の城竹田城跡」がある地域



田園風景が広がり、旧街道沿いに酒蔵が並ぶ注目の地域



美術館や鉾山遺構、茶畑など多様な側面を持つ地域